

令和 年 月 日

秋田県知事

秋田県高等学校等専攻科奨学給付金受給申請書

次の3点を確認の上、□にレ印を付けてください。

- ☒ この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
- ☒ この申請書に虚偽の記載があった場合は、秋田県の求めに従いその全額を即時返還します。
- ☒ 私は秋田県以外の都道府県に高等学校等専攻科奨学給付金の申請は行っておりません。

（記入に当たっては、別紙の「記入上の注意」及び「留意事項」をよく読んでから記入してください。）

高等学校等専攻科奨学給付金の受給を申請します。

申請者住所等	〒 010-0000 秋田市山王三丁目1番1号 TEL (018) 860 — 5111	ふりがな あきた たろう	
		申請者氏名 秋田 太郎	
生徒との関係	<u>父母、主たる生計維持者</u> ・ 生徒本人 ・ その他（ ）		

【記入が必要となる様式について】
（次の①～④のいずれかの□にレ印を付けて、申請に必要な様式に記入してください。様式1-3はすべての申請で記入が必要な様式です。別紙は記入上の注意です。）

①	☐	申請者の在住する都道府県と生徒が通う学校の所在する都道府県が同じです。
		⇒ 様式1-2【1】・【2】、様式1-3 を記入してください。 【高等学校等専攻科修学支援金支給決定（支給予定）通知書を添付】
②	☒	申請者の在住する都道府県と生徒が通う学校の所在する都道府県が異なります。
		⇒ 様式1-2【1】・【3】・【4】、様式1-3 を記入してください。 【国籍・在留資格等が確認できる書類を添付】
③	☐	きょうだいで、通う学校の所在する都道府県が異なります。
		⇒ ①に該当する生徒：様式1-2【1】・【2】、様式1-3 を記入してください。 ⇒ ②に該当する生徒：様式1-2【1】・【3】・【4】、様式1-3 を記入してください。 【①と②の書類をそれぞれ添付】
④	☐	いずれを選択してよいか分かりません。
		⇒ 様式1-2【1】・【3】・【4】、様式1-3 を記入してください。 【国籍・在留資格等が確認できる書類を添付】

【1】対象となる生徒について

ふりがな		あきた こまち		生年月日	平成 令和	〇年 〇月 〇日					
氏名		秋田 小町									
在籍する 専攻科 高等学校等	学校の名称	〇〇高等学校									
		国立・公立・ <u>私立</u>									
		学校の種類・課程・学科:									
	学校の所在地	〇〇 都道府県 〇〇 市区町村 〇〇町1-1									
在学期間		令和 〇年 4月 1日 ~									
過去の高等学校等専攻科 における在学期間		学校名	年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数						
		立	~ 年 月 日		なし	1回	2回	3回	4回	不明	
						☐	☐	☐	☐	☐	☐
		学校名	年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数						
立	~ 年 月 日	なし	1回		2回	3回	4回	不明			
				☐	☐	☐	☐	☐	☐		

【2】高等学校等専攻科修学支援金支給決定(支給予定)通知書の添付について

(生徒の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等を確認するため、次に該当する場合は、□にレ印を付けてください。)

生徒本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため、以下のとおり申請します。

☐	秋田県外の高等学校等専攻科に在学している場合は、この欄の選択は不要です。
☐	

【3】生徒の国籍・在留資格・在留期間等について

(次のいずれかの該当する□にレ印を付けてください。)

(1) 生徒本人の国籍を以下のとおり申請します。	
①	☒ 日本国
②	☐ 日本国以外

(上記(1)で②「日本国以外」を選択した場合は、次の③~⑨のいずれかの該当する□にレ印を付けてください。また、必要事項を記入してください。)

(2) 生徒本人の在留資格・在留期間等を以下のとおり申請します。			
③	☐ 特別永住者		
④	☐ 永住者		
⑤	在留期間(満了日)	(西暦) 年 月 日	
⑥			
⑦	在留期間(満了日)	(西暦) 年 月 日	
		日本国に永住する意思の有無 ☐ はい(あり) ☐ いいえ(なし)	
⑧	☐ 家族滞在	在留期間(満了日)	(西暦) 年 月 日
		☐ 卒業した ☐ 卒業していない	
	日本国の小学校の卒業の有無等	小学校名	
		所在地	都・道・府・県
	日本国の中学校の卒業の有無等	中学校名	
		所在地	都・道・府・県
日本国の高等学校の卒業の有無等	☐ 卒業した ☐ 卒業していない		
	高等学校等名		
	所在地	都・道・府・県	
	日本国で就労する意思の有無	☐ はい(あり) ☐ いいえ(なし)	
⑨	☐ 上記以外の在留資格(留学等)	在留期間(満了日)	(西暦) 年 月 日

【4】生徒の国籍・在留資格・在留期間等の確認書類について

(生徒の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等を確認するため、次の①～④のいずれかの□にレ印をつけてください。)

生徒本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため、以下のとおり申請します。		
①	☒	「住民票の写し（市町村の発行したもの。原本。コピー不可。）」を添付します。 ※国籍が「日本国」以外の生徒：国籍・在留資格・在留期間等が記載されたもの。
②	☐	「特別永住者証明書の写し（コピー）」を添付します。
③	☐	「在留カードの写し（コピー）」を添付します。
④	☐	以下に該当するため、①～④のいずれの書類も添付しません。
以下のすべてに該当		かつ 以下のいずれかに該当
・ 令和8年3月31日以前から引き続き在学している者 ・ 国籍が「日本国以外」 ・ 「生活保護受給世帯（外国人を含む）」又は「令和8年度の住民税が非課税である世帯」		・ 在留資格が「定住者」で、日本国に永住する意思がない場合 ・ 在留資格が「家族滞在」で、日本国で就労する意思がない場合 ・ 在留資格が「家族滞在」で、日本国の小学校、中学校及び高等学校等を卒業していない場合 等

(在留資格が「家族滞在」であって、下記のすべてに該当する場合は、⑤～⑦の□にレ印を付けてください。)

・ 【3】（2）⑧で「日本国の小学校、中学校及び高等学校を卒業した」にレ印を付けた。		
・ 【3】（2）⑧で「日本国で就労する意思がある」にレ印を付けた。		
⑤	☐	「日本国の小学校の卒業証書の写し（コピー）又は卒業証明書」を添付します。
⑥	☐	「日本国の中学校の卒業証書の写し（コピー）又は卒業証明書」を添付します。
⑦	☐	「日本国の高等学校等の卒業証書の写し（コピー）又は卒業証明書」を添付します。

【生計維持者の収入等の状況について】（該当する□にレ印を付けてください。）

（１）次の者の課税証明書等及び（記入上の注意【生計維持者の収入等の状況について】二に該当する場合）扶養誓約書、（記入上の注意【生計維持者の収入等の状況について】ホに該当する場合）扶養親族申告書を提出します。

①	☒	父母 2 名分
②	☐	父母 1 名分 ・離婚、死別等により父母が 1 名の場合 ・父母が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、父母の 1 人の課税証明書等を提出できない場合 等 ・満 18 歳となる日の前日において里親等に委託されていた場合、児童養護施設等に入所していた場合、そのほか社会的養護が必要と認められる場合は③又は④のいずれかの□にレ印を付けてください。
③	☐	生徒の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者） 1 名分 ・父母が存在しない場合 等
④	☐	生徒本人 ・父母又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合 等

【生計維持者の氏名及び生徒との続柄について】

（２）課税証明書の写し等を提出する生計維持者の氏名及び生徒との続柄を記入してください

ふりがな	あきた たろう	生徒との続柄	ふりがな	あきた はなこ	生徒との続柄
氏名	秋田 太郎	父	氏名	秋田 花子	母